

開催場所: 岩木山総合公園体育館		
試合区分: No. 9A3	1次リーグ	コミッショナー: 佐々木桂二
期 日: 2010.10.9		主審: 栗田 充伯
開始時間: 16:00		副審: 田中 充
終了時間:		

<p>仙台大</p> <p>(1次リーグ*1位)</p>	<p>○</p> <p>98</p>	<p>33 -st1- 10</p> <p>20 -2nd- 20</p> <p>24 -3rd- 8</p> <p>21 -4th- 20</p> <p>-OT1-</p> <p>-OT2-</p> <p>-OT3-</p>	<p>●</p> <p>58</p>	<p>岩手大</p> <p>(1次リーグ*4位)</p>
------------------------------	--------------------	---	--------------------	------------------------------

仙台大学

[illegible]

岩手大学

[illegible]

PST: ポイント

M: 成功

A: 試投

%: シュート率

FG: フィールドゴール

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファール

OR: オフェンスリバウンド

DR: ディフェンスリバウンド

TOT: トータルリバウンド

TO: ターンオーバー

AS: アシスト

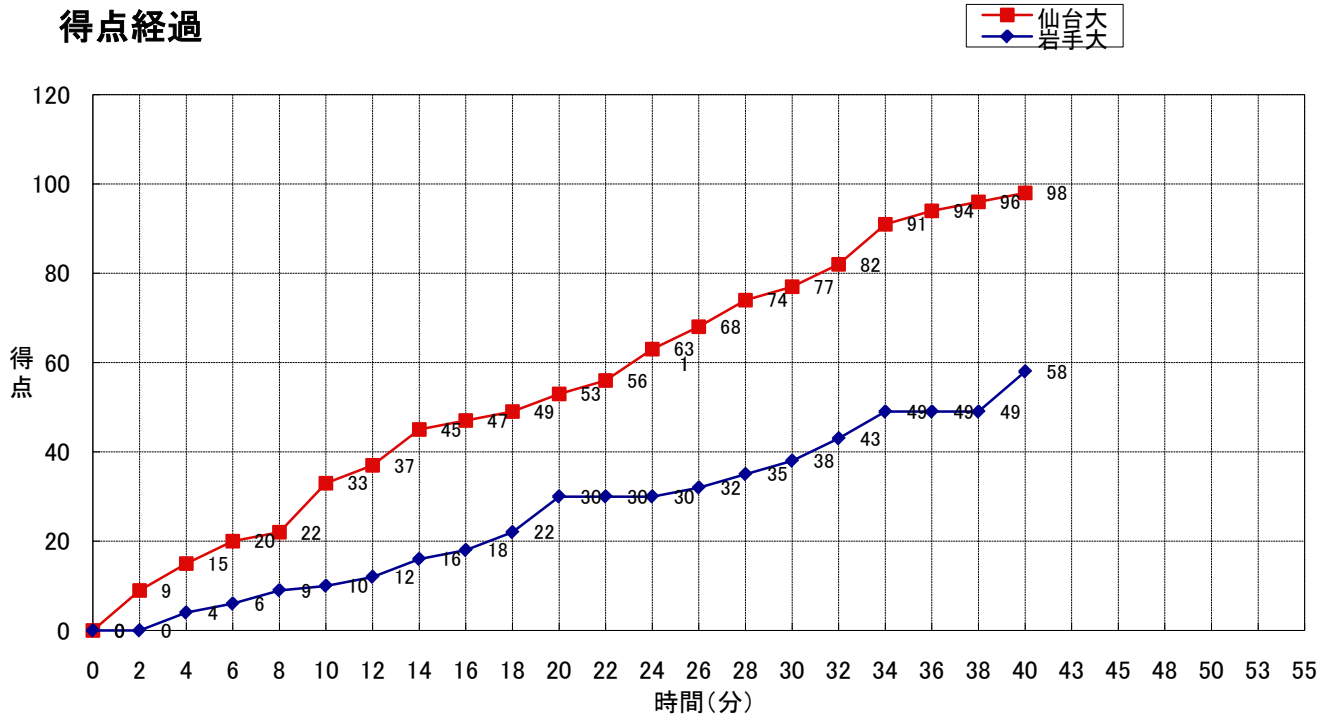
ST: スティール

BS: ブロックショット

MIN: 出場時間

S: スターター

DT: 延長



ゲームレポート

試合のまとめ

仙台大、岩手大の両チームにとって大事な2次リーグの初戦。1次リーグでは僅差で仙台大が勝利しているが今回の対戦では、終始優勢にゲームを進めた仙台大の圧勝となった。岩手大は#9下山が活躍をみせるが、#5佐々木、#6伊藤が怪我の出場時間が限られてしまい、仙台大のプレッシャーディフェンスを前に持ち味を十分に発揮することが出来なかった。結果、スピード、ディフェンス、シュート力で勝る仙台大が、貴重な一勝を手にした。

第1ピリオド

両チーム、ハーフコートマンツーツーディフェンスで試合開始。出だしから仙台大#14佐藤の3Pシュートや#75我妻のゴール下シュートなどで得点を重ねていく。対する岩手大は、仙台大のプレッシャーディフェンスを崩すことが出来ず、なかなか自分達の流れが掴めない。中盤、岩手大#9下山のドライブインや#7佐々木の3Pで追い上げを見せるが、なおも仙台大の#14佐藤の連続3Pで追撃を許さず、10対33で終了。

第2ピリオド

1Qの勢いのまま、開始直後から仙台大が次々と加点していく。追いつきたい岩手大だが、オフェンスでは単発のシュートが続き、リバウンドにも絡む事が出来ない。たまたま岩手大はタイムアウトを取り、流れを変えようと試みる。ここで一気に勝負にかけたい仙台大であったが、ミスが続き岩手大#12吉田の3Pや#9の下山らの得点により、岩手大が食らいつく形となる。30対53で仙台大リードで前半終了。

第3ピリオド

後半開始直後は、両チーム共にシュートが入らず静かな立ち上がりとなる。しかし、仙台大#4菅原のバスケットカウントから仙台大が勢いを取り戻す。ここで引き離されたくない岩手大はタイムアウトを取るも、仙台大のプレッシャーディフェンスを前に、シュートまでいくことが出来ない。仙台大は要所での3Pを確実に決め、かろうじて終了間際に岩手大#4外崎の3Pが決まるも、38対77で仙台大リードで終了。

第4ピリオド

開始早々、仙台大のゾーンディフェンスにより、岩手大のミスが続いてしまう。対する岩手大もオールコートマンツーマンディフェンスに切り替えるも、仙台大は落ち着いたボール運びで得点を重ねていく。このままで終われない岩手大は最後までディフェンスで粘り、#9下山の3Pなどで追上げるも追撃及ばず、58対98で仙台大の勝利となった。

(担当:山形大学 福田)